

令和1年度  
事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会  
指定障がい福祉サービス 愛泉園  
(生活介護事業)

C

C

## 目 次

1、総 括	．．．．． 2
2、日中活動	
◎薬草加工・軽作業	．．．．． 2
◎療育活動	．．．．． 3
◎農耕作業	．．．．． 3
◎給食作業	．．．．． 3
3、作業工賃	．．．．． 4
4、職員研修	．．．．． 4
5、余暇活動支援	．．．．． 4
6、自治会活動支援	．．．．． 5
7、事故防止策および事故対応策	．．．．． 5
8、なんでも相談（苦情解決）	．．．．． 5
9、保健医療支援	．．．．． 5
10、管理業務	．．．．． 5
11、参考資料	．．．．． 6
12、年間事業実施表	．．．．． 7

## 1. 総括

自然豊かな愛泉園の環境を生かし、利用者が季節を感じながら過ごせる機会を大切に創意工夫を行いました。一つには初夏に保護者とカシスの収穫祭を実施、秋には植え付け3年目で量は少しですが「シャインマスカット」の収穫体験もできました。のんびりと過ごす方、軽作業で汗をかく方、自分の好きなことに没頭しながら過ごしながら一年が過ぎました。軽作業活動においては利用者個々出来る事、興味のあることを引き出しながら、施設内にとどまらず地域とつながる機会を大切に、各作業を実施しました。今年度の大きな活動として、2020年4月国立博物館「ウポポイ」での販売を目標に、愛泉園利用者が作るお土産商品の開発を進め、自動刺繍機や衣類へのプリントを行う機械などを整備し、利用者の軽作業として計画的に商品開発、商品製造を行いました。（新型コロナウイルスの感染防止のためオープンが延長され、同じく白老駅裏のインフォメーションセンターの開設も延期となっており、5月時点でも販売活動には至っていない）

その他、手芸に興味のある利用者が支援員のサポートを受けながらアイヌ文様刺繍を行い、作品を町内飲食店で1か月間展示会を開催し、外出見学を兼ねて利用者がティータイムを楽しむ機会にもなりました。

また、既存設備を活用した農作業では、「ご近所野菜市」への出店や厳寒期の無暖房や葉物野菜作り、カシスの増殖、エント栽培やヨモギの試験栽培など一定度の成果が見られます。この成果を、次年度に生かし更なる充足を目指すことで、利用者の軽作業が広がり地域との接点が強まることと期待しています。

その他、各種環境整備については、業者に頼らずに自分たちでできる部分として建物の防錆剤塗装や和志の家周辺の整備などを行い、徐々に整いつつあります。次年度以降もできる範囲で環境整備を進め事業の持続性と環境美化に努めていきたいと思っております。

## 2. 各種活動報告

### 〈葉草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」の製造販売を行いました。「よもぎのお風呂」については、総数5,029個、総額217,390円の売り上げがあった。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品があった。この活動は原材料費がかからず利益率も高いため利用者への工賃還元を目標に行うが商品の在り方を検討したい。

委託業務である新聞たたみの作業については、安定的に行うことができている。年間売上180,000円（昨を得ることができ、利用者も安定的・継続的に関わることができた。また、缶バッジ等を含めたプリント事業や、地域事業者からの下請け作業（紙袋の作成）活動などを含めた軽作業としては1,543,455円の売上を得ることができ、生産活動全体としては総額2,284,572円を計上した。

軽作業のクリエイティブ班による活動では、引き続き2020年の国立アイヌ民族博物館開設に向けた事業として新しく「ガジェットプリンター」と呼ばれる印刷機と「刺繍ミシン」を新たに購入し、Tシャツやトートバッグ、タンブラーなど、本格的に土産品の生産を開始した。オリジナルアイヌ文様を施した缶バッジ類（カプセルトイ/200円売）を町内8カ所のホテルや小売店で販売し、2,110個を売り上げている。その売り上げの中から1個あたり10円、総額で21,100円をアイヌ民族文化財団へ寄付をした。この他にも、昨年と同様に道内・道外でのPR活動のノベルティとして使用され、総個数約7,700個を販売することができた。

また、製品だけでなく「オリジナルアイヌ文様」のデザインが、町内循環バスのバス停に使用されたりデマンドバスのデザインの一部として採用されるなどしました。



【ガーメントプリンター】

【刺繍マシン】

【元気号バス停】

【白老町デマンドバス】

### 〈療育活動〉

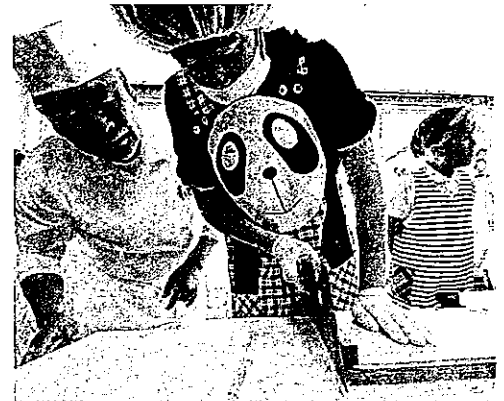
何よりも本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、白老町の紙フェスティバル作品の制作、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。器具を使用した運動、敷地内の遊歩道をウォーキング、野菜や果物の収穫、ゲーム機を使用したダンスなどを行い個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有化を図り、精神的な安定を基本として助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種行事等にも積極的に参加しています。又、アイヌ民族博物館や商業施設で販売する缶バッジ制作の一端に関わることで、地域振興にも貢献することができました。



【習字】



【水浴び】



【そば打ち体験】

### 〈農耕作業〉

農耕作業は、共生型事業所におけるご近所野菜市や「ななかまど」での販売を行い、444,227円の売上があった。また、給食の一部食材として使用することで、新鮮な野菜を利用者に提供することができた。さらに行事等での使用をすることで栽培から消費までを一貫して行うことができた。今年度も冬期間中無暖房ハウス栽培を行った。野菜の生育も良く12月～3月まで収穫ができたが3月5日～6日の未明にかけ断続的に降り続いた降雪により農耕ハウス2棟が雪の重みにより倒壊する。収穫途中の野菜に被害が出たが目標値を達成することができた。

昨年も好評だったカシスは、冷凍カシスやカシスジャムとして販売し、今年度も挿し木をして作付面積を拡張した。今後も愛泉園の資産となるようさらに作付を増やしていく。重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めている。

(生産実績) 園内耕地 たまねぎ、とうもろこし、スティックブロッコリー、ナス、ミニトマト、大根、ほうれん草、カボチャ、きゅうり、枝豆、サラダ春菊、サニーレタス、

オクラ、にんにく、小松菜、正月菜、春菊、桃太郎、カシス、スナップエンドウ、ソラマメ、ラディッシュ、長ネギ、じゃがいも、ニラ、ニンジン、シロネ、インゲン豆、白ナス

#### 〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

### 3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 150 円、200 円、300 円、500 円の工賃を支給し、24 名の利用者に対して総額 1,659,978 円（1 人平均年 69,165 円）を工賃として支出した。

### 4. 職員研修

各種研修への参加を通して見聞を広め、資質の向上を目指した。特に障がい者虐待防止法、人権擁護の研修を強化し行った。法人内研修報告会や事例研究発表会に参加し、資質向上と意識の共有化を図った。さらに新任職員向けの研修、支援会議等でのケース研究、てんかん発作への対応を統一化するための勉強会などを開催した。また、法人独自のマニュアルを活用した新任研修や、基礎的な知識向上を目的とした研修を重点的に行いました。

その他、東京都と福岡県の事業所や国立博物館へ職員を派遣し授産活動における製品開発のための視察研修や、江別市への施設視察など職員が実際に現場を見て学ぶ機会を確保した。

### 5. 余暇活動支援

誕生会については、本人の誕生日に「愛泉園家族の会」の協力を得てプレゼントを用意し皆でお祝いを行った。週末にはカラオケやゲームなどの余暇支援を実施。年間行事では、餅つき新年会、ハロウィンパーティー、節分、ひな祭り、バレンタインデーなど季節的な催しの他に、夏と冬にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行った。

その他の屋内外の行事として、調理体験教室（菓子づくりなど）ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊の施設への日帰り外出、月 1 度の大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【カラオケ】



【夏季アイセンピックの様子】



【新年会の様子】

## 6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

## 7. 事故防止策および事故対応策

マニュアルを活用し、想定されるリスクへの意識を高め、防ぐための対応方法などを常に考慮できる視点を養うことを念頭にして、DVDなどを活用しながら実施した。

胆振東部地震を受け、停電時の施設内部への電源供給をスムーズに行うため、発電機と連結できる配線設備工事を実施した。また、緊急時の連絡網として【LINE】を活用した情報交換を整備した。

## 8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかったが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かす。

## 9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種を行い、集団感染を防止するためのうがい、手洗いの励行など対応を行った。また、園内の手すりやドアノブの消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行った。

## 10. 管理業務

予算の適正な執行に心がけ、経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。テラスの屋根の張替え、支柱の塗装を行った。落雷により井水ポンプの制御盤と火災受信機に被害があり修理交換をしました。また、利用者の道路への飛び出しや閉所時の防犯のため、単管を使用したフェンスを設置し安全を確保した。今後も環境整備、不要物品等の処分等を随時行います。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練を実施した。



【テラス屋根交換と支柱塗装】

【ポンプの制御盤と火災受信機修理】

【フェンス設置】

## 11. 参考資料

### (1) 令和1年度 利用者の状況 (令和1年3月31日現在)

#### 1. 利用状況

##### (1) 定員及び利用者現員 (人)

事業	定員		現員
生活介護	20	男性	20
		女性	4
計	20		24

##### (2) 居住状況

在宅	4
グループホーム	20
計	24

#### 2. 利用者の状況

##### (1) 年齢別 (人)

性別 \ 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男性	0	3	11	5	1	0	0	0	20
女性	0	1	1	2	0	0	0	0	4
計	0	4	12	7	1	0	0	0	24
構成比	0.0%	16.7%	50.0%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

\* 平均年齢は37.4歳、男性は37.1歳 女性は39.2歳

\* 最年少は24歳(男性1名)、最年長は50歳(男性1名)

##### (2) 障害支援区分別 (人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	0	0	0	9	6	5	20
女性	0	0	0	1	3	0	4
計	0	0	0	10	9	5	24
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	37.5%	20.8%	100.0%

#### 市町村別利用状況

(人)

行政 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
白老町	0	0	0	4	1	0	5
苫小牧市	0	0	0	1	1	1	3
登別市	0	0	0	2	3	1	6
室蘭市	0	0	0	2	1	3	6
千歳市	0	0	0	0	0	0	0
江別市	0	0	0	0	0	0	0
札幌市	0	0	0	0	3	1	4
計	0	0	0	9	9	6	24



令和1年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会議・研修 内容	保健衛生・検査・その他等	
4月	辞令交付(1日) 法人役員交流会(1日) 誕生会(17日)	施設長会議(11日) 共生型会議(16日) 共生型・野菜市会議(18日) 法人運営会議(22日) 外部監査(26日)	職員会議(10日) 支援会議(24日) 水質検査・便検査(10日) 精神科嘱託医往診(11日) 利用者工賃支給(10日)	
5月	誕生会(28日) 花見(8日) 家族の会役員会・総会(11日)	施設長会議(17日) 内部監査(22日) 理事会(30日) 法人運営会議(20日) 事務部会(16日) 外部監査全体報告(16日)	職員会議(8日) 支援会議(29日) 看護師会議(15日) ゆからモニタリング(23日) 平取養護学校見学会(20日) 水質検査・便検査(8日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(9日) マイクロバス車検(17日) ハイエース車検(23日)	
6月	誕生会(22日) パークゴルフ(20日) ドラムサークル(28日) 遊覧訓練/地震想定(28日)	理事会&評議員会(14日) 共生型運営会議(27日) 法人運営会議(22日) 看護師会議(19日) 施設長会議(10日・24日)	江別施設研修(5日) 札幌広報研修(7日) 職員会議(12日) ゆからモニタリング(11日・19日) 支援会議(26日) 福岡視察研修(18日・19日)	精神科嘱託医往診(13日) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(12日) 利用者職員健康診断(25日)
7月	誕生会(12日) 収穫祭(13日) ラフティング(17日)	事務部会(10日) 外部監査総評(30日) 法人運営会議(26日) 共生型運営会議(30日) 東京研修(23日・24日・25日)	職員会議(10日) 支援会議(31日) 施設長会議(22日) 野菜市出店者会議(30日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日) 精神科嘱託医往診(11日) アルソック消防設備点検/防災受信機交換(5日) ホイールローダー定期点検(9日) 保険鑑定(1日)
8月	野菜市販売(2・6・9・13・20・23・27・30日) 共生型事業:寺子屋(6日) 誕生会(20日)	併科衛生講習(5日) 法人運営会議(26日) 紙フェス会議(28日) 事務部会(26日)	職員会議(7日) 支援会議(21日) ゆからモニタリング(1日・2日) 施設長会議(21日)	水質・便検査(7日) 精神科嘱託医往診(8日) 利用者工賃支給(9日)
9月	野菜市販売(3・6・10・13・17・20・24・27日) 果物狩り(11日) ハイジ牧場(12日) 夏季アイゼンピック(18日)	苦情クレームセミナー(13日) 理事会(11日) 法人運営会議(19日) 共生型運営会議(19日) ゆからモニタリング(19日) 前期モニタリング(21・28日)	職員会議(4日) 支援会議(20日) 外部監査(18日) 外部監査総評・事務部会(20日) 看護師会議(20日) 災害対策研修(27日)	精神科嘱託医往診(12日) 水質・便検査(11日) 利用者工賃支給(10日) マイクロバス3ヵ月点検(30日) 献血(6日)
10月	ハロウィン(29日)	日中支援型QH視察(5日) 福祉関係職員研修(8・9日) 施設長会議(11日) グランファーム見学(15日) 法人運営会議(25日)	職員会議(15日) 支援会議(23日) 恩賜総合振興局集団指導監査(24日) 看護師会議(24日) 町内企業説明会(30日)	水質・便検査(9日) 精神科嘱託医往診(10日)
11月	きのこファーム見学(14日) そば打ち体験(26日) 誕生会(22日)	施設長会議(1・14日) ゆからモニタリング(5日) 正規職員登用試験:筆記(12日) 正規職員登用試験:面接(20日) 法人運営会議(18日) 虐待防止・権利擁護研修(19日)	職員会議(13日) 支援会議(27日) 人事考課一次面談(13日) 差別市区分認定調査(21日) 共生型運営会議(28日) 法人内研修発表会(30日)	水質・便検査(13日) 精神科嘱託医往診(14日) インフルエンザ予防接種(21日)
12月	映画鑑賞会(7日) 忘年会(20日) 誕生会(20日) 製菓活動(25日)	地球福祉計画策定会議(2日) 日超非常災害対策会議(3日) 内部監査(4日) ゆからモニタリング(6日) 法人運営会議(13日)	札幌市区分認定調査(9日) 職員会議(18日) 支援会議(25日) 法人内事例実践報告会準備委員会(19日) 社協地域福祉会議(24日) ポプリ正月餅製造応援(28・29日)	水質・便検査(11日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(12日) マイクロバス3ヵ月点検(14日)
1月	共生型事業:寺子屋(9日) 新年会(11日) 誕生会(11日) 冬季アイゼンピック(24日) 白老町体操・新体操教室(25日)	卒園所感(7日) ゆからモニタリング(8・10日) 施設長会議(10・24・31日) 法人運営会議(20日) 社協地域福祉会議(24日) 公益事業研修(29日)	職員会議(8日) 支援会議(22日) 看護師会議(16日) 法人内事例実践報告会準備委員会(21日) 公用車整備管理者選任前研修(28日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) アルソック防火設備点検(28日) 浄化槽点検清掃(14日)
2月	節分(3日) バレンタインデー(14日) 誕生会(28日) 個別三者面談(29日)	施設長会議(7・21日) 法人運営会議(17日) 後期モニタリング(18・19日) 法人内事例実践報告会準備委員会(12日) 法人内事例実践報告会(15日)	職員会議(12日) 支援会議(26日) 看護師会議(20日) 水助表彰式及び新任職員歓迎会準備委員会(25日)	水質・便検査(12日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(13日) ウボボイ事前見学(27日)
3月	ひな祭り(3日) 三者面談(2・3・4・5・6・7日) ホワイトデー(14日) 誕生会(25日) 近藤梨子さん作品展(ラビビ/4日~31日) 製菓活動(30日)	内部監査(11日) 法人運営会議(18日) 施設長会議(6・23日)	職員会議(11日) 支援会議(25日) 看護師会議(17日)	水質・便検査(11日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(12日) 売上の一部がアイス財団へ寄付(26日) 文教大学学生1名見学(16日)

C

C